

科目名	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ						
Course Name	Child and Home Support, Child and Family Welfare System Ⅱ						
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊信成						
連絡先(質問等)	福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択(日本大学文理学部3年次編入ユニット必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>高度な社会システムとともに生活も豊かになっている現代社会において、子どもたちが健全に育ち豊かな人格形成をすることがかえって難しい状況である。児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱでは事例を中心としながら福祉・教育・心理など多角なアプローチによって理解を深めていき、子どもの個々の諸問題に応じた援助技術を学んでいく。</p> <p>①様々な子どもや保護者、地域に対するアプローチ法を身につけることができるようにする。  ②臨機応変に対応できる効果的な実践力を身につけることができるようにする。  ③児童福祉の現状と諸問題及びそれに対応する諸制度及び施策について理解し、説明できるようにする。  ④子ども及び家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要について理解し、説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	①事例を中心として、様々な子どもや保護者、地域に対するアプローチ法を身につけることができる。 ②効果的な実践力を身につけることができる。					
	L03	①児童福祉の現状と諸問題及びそれに対応する諸制度及び施策について体系化することができる。 ②子ども及び家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要についてその特徴を述べることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	①『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』弘文堂 ②『現代社会福祉の諸相』大学図書出版 大熊編著他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにすること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。日本大学文理学部3年次編入ユニットは必修。福祉系大学編入希望者は履修がのぞましい。児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱだけの履修は原則認めない。児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰを履修しておくこと。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		

レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
<b>合計</b>				40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 児童を取り巻く現代社会について
	事前・事後学習	児童を取り巻く現代社会について自己の体験を踏まえノートにまとめておくこと。
2	授業内容	児童福祉の歴史的展開
	事前・事後学習	児童福祉の歴史的展開についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
3	授業内容	事例分析法について
	事前・事後学習	事例分析法について調べておくこと。ノートにまとめること。
4	授業内容	児童福祉と専門職について－専門性とは何か
	事前・事後学習	専門性についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
5	授業内容	児童福祉援助活動の実際－児童相談所の事例 レポート「児童相談所の役割と機能」提出は第6回の授業日
	事前・事後学習	児童相談所の機能と役割について調べておくこと。レポートを作成すること。
6	授業内容	児童福祉援助活動の実際－不登校児の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
7	授業内容	児童福祉援助活動の実際－児童養護施設の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
8	授業内容	児童福祉援助活動の実際－知的障害児の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
9	授業内容	児童福祉援助活動の実際－母子生活支援施設の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
10	授業内容	児童福祉援助活動の実際－統合キャンプの事例(発達障害児へのアプローチ)
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
11	授業内容	児童福祉援助活動の実際－重症心身障害児の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
12	授業内容	児童福祉援助活動の実際－児童虐待の事例
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
13	授業内容	児童福祉援助活動の実際－多動児の事例 保育所の事例 全盲児の事例など
	事前・事後学習	事例を読んで分析しておくこと。ノートにまとめておくこと。
14	授業内容	児童福祉を担う人々について レポート「児童福祉に関わる専門職とその役割」提出は第15回の授業日
	事前・事後学習	児童福祉分野の仕事について調べておくこと。レポートを作成すること。
15	授業内容	総括 児童福祉の展望と課題について
	事前・事後学習	児童福祉の課題と展望について自分の意見をまとめておくこと。